

平成29年度 全国保健師長会近畿ブロック研修会報告

- 【テーマ】 「保健師活動の可視化及び質の向上について」
- 【日時】 平成29年9月23日（土）13時30分～16時30分
- 【場所】 京都テルサ 東館3階 大会議室
- 【参加者】 118人
- 【内容】
- ◇ 全国保健師長会挨拶・平成29年度活動方針説明
全国保健師長会 担当理事 大森 美恵子 氏
 - ◇ 研究報告「地域包括ケアシステム構築の推進にかかる保健師の役割に関する研究」
報告者 松本 珠実 氏
 - ◇ グループワーク・講演 「保健師活動の可視化及び質の向上について」
講師 東京医科大学 准教授・博士 吉岡 京子 氏

【研修会の様子】

◇ 平成29年度活動方針説明



- ・ 師長会の取組や活動状況が良く分かった。
これからも報告書など目を通したい。

◇ 研究報告「地域包括ケアシステム構築」



- ・ 地域包括ケアシステム構築推進チェックリスト
で、自分自身が出来ていないことを再認識した。

◇ グループワーク・講演 ～保健師活動の資質を高めるための日頃の悩みと具体的な取組等～

保健師活動をどう見せるか？（可視化が困難、理解が得られない、事務部門の人への説明等）
キャリアラダー作成の必要性（保健師間の能力格差、分散配置と連携の難しさ、年齢構成等）
今一度保健師とは何か？を考える、何をしなければならないのか？



- ・ 他都市の保健師と情報交換をすることができ、同じ仲間としての思いを共有することができた。
- ・ 保健師の存在の危機を感じた。保健師とは何か、もう一度考え直す機会になった。
- ・ 100年後に保健師が残っていることを目指して、後輩のために今後、切磋琢磨していきたい。

【全体の振り返り ～アンケート結果から～】

- ◇ 内容について、「大変参考になった、参考になった」の回答が、78.6～91.6%。
- ◇ 研修全体の満足度は、「大変満足、満足」の回答が、95.4%。

【報告者：近畿ブロック理事 安藤えつ子】